



ともに チャレンジ!
 ～ 美しい「あ・や・が・わ」の創造 ～
 あらたな文化 やすらぐ校風 がんばる心 わの精神

綾川中学校
 学校便り No.33
 2023年1月31日

全国学校給食週間の取組 1月24日(火)～1月30日(月)

我が国における学校給食は、明治22年に始まって以来、各地に広がっていきましたが、戦争の影響などによって中断されました。戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に学校給食の再開を求める国民の声が高まるようになり、昭和21年6月に米国のLARA (Licensed Agencies for Relief in Asia: アジア救援公認団体) から、給食用物資の寄贈を受けて、昭和22年1月から学校給食が再開(「学校給食実施の普及奨励について」昭和21年12月11日文部、厚生、農林三省次官通達)されました。

昭和21年12月24日に、東京都内の小学校でLARAからの給食用物資の贈呈式が行われ、それ以来、この日を学校給食感謝の日と決めました。昭和25年度から、学校給食による教育効果を促進する観点から、冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「学校給食週間」としました。

子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向など、健康状態について懸念される点が多く見られる今日、学校給食は子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。

学校給食週間においては、このような学校給食の意義や役割について、児童生徒や教職員、保護者や地域住民の理解を深め関心を高めるため、全国で様々な行事が行われています。

(文部科学省HPより)

本校でもこの期間中、次のような給食委員会による給食に関する啓発活動が行われました。

- 1 調理場の中の様子を紹介
- 2 栄養教諭や調理員さんへのインタビュー紹介
- 3 給食クイズ



【給食委員による発表】

1の調理場の中の様子で紹介では、「食材の受け取り」「下処理(皮むき・洗浄・裁断)」「炊飯」「焼き物・あえもの・汁物づくりの行程」「調理完了後の作業(片付け・翌日の準備)」等の様子が写真を使って詳しく紹介されました。

こうして手間ひまかけて作られた給食を、本校の子どもたちはしっかりと食べられています。以下は、学校給食週間中の残菜の量です。

日付	24日(火)	25日(水)	26日(木)	27日(金)	30日(月)
残菜量	2.0kg	1.3kg	1.1kg	1.5kg	1.4kg



感染症等による欠席者が多い中でも、残菜量は1日平均約1.5kg、【食材の下処理の様子】1人平均に換算すると約3g弱であり、子どもたちはほとんど残すことなく給食を食べ切っていることがお分かりになると思います。

私は、大きな声を出して歌うことができることと、給食が残らないことは、よい学級や学校のバロメーターの一つと考えています。したがって、校内音楽祭や音楽の授業でしっかりと歌い、給食の時間にしっかりと食べられる綾川中学校はとてもよい学校と言えるのかもしれませんが。

本校では、町教育委員会の指導のもと、栄養教諭が栄養のバランスと美味しさを追求した献立を作成し、調理員とともに安全で安心な給食を提供するために日々努力しています。

「食」という字は「人」を「良くする」と書きます。学校給食は、子どもたちを毎日笑顔にしています。ぜひ、ご家庭でも給食の話題をもとに楽しく夕食の時間をお過ごしください。

全日本アンサンブルコンテスト香川県大会結果(1/14(土))

- > サックス四重奏 銀賞
- > 金管八重奏 銅賞

香川県中学校新人体育大会結果(卓球 1/8(日)・9(月) バレーボール 1/28(土))

- > 卓球女子団体 1回戦惜敗
- > バレーボール男子 2回戦惜敗
- > 卓球女子個人 1回戦惜敗
- > バレーボール女子 2回戦惜敗